

地域おこし協力隊“奔走中”

地域振興係

地域おこし協力隊移住定住促進担当としての任期は、この4月末をもって終了となります。この3年の活動を振り返ると、「町の課題に対して、成果が上がったのかどうか」という視点で見ると、改善ができたことはあるかもしれませんが。しかしながら、少子高齢化に伴う人口減少への施策は、息の長い取り組みであり、そういう意味では道半ばではあります。また、全体を見て、課題を把握するのに2年かかります。手を広げ過ぎてもフォーカスがぶれてしまいます。そして権限がないため、できることも限られ、提言止まりが実情です。

活動の3年目は、任期終了後の準備を進める必要があるため、「最後の1年は何ができるのか」、自問自答と葛藤の連続でしたが、昨年12月に信州マーケティングパートナー株式会社を設立いたしました。目的は、この3年間でできなかった産業振興の支援を始めていくためです。

任期終了後の5月以降は町内の産業だけではなく、佐久圏域や東信エリア、長野県全体を見据え、微力ながら、産業振興の強化支援を通じて、立科町を含めた長野県の経済活性化に寄与していきたいと思っております。

4月末をもって
任期終了します

●移住定住促進担当
中平 次郎です。



人約資本経営対応の決め手！ ドラッカーを知る経営者だけが、今こそ、業績を大きく伸ばす！！～企業価値を高め、人が集まる魅力的な組織へ～

地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。隊員は各自治体の委嘱を受け、任期はおおむね1年から3年です。具体的な活動内容や条件、待遇等は各自治体により様々ですが、総務省では、地域おこし協力隊員の活動に要する経費に対して隊員1人あたり480万円を上限として財政措置を行っています。(参照：総務省HP)

「立科町精神障害にも対応した地域包括ケアシステム学習会

福祉係

～こころの病気への理解を深めよう～を開催しました

1月26日(金)に、老人福祉センターで学習会を開催しました。障害者相談支援センターや小諸高原病院の講師の先生からこころの病気についてのお話をいただき、意見交換を行いました。

当日は大勢の皆さんにご参加いただき、とても充実した学習会となりました。今後も普及・啓発活動を実施していきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



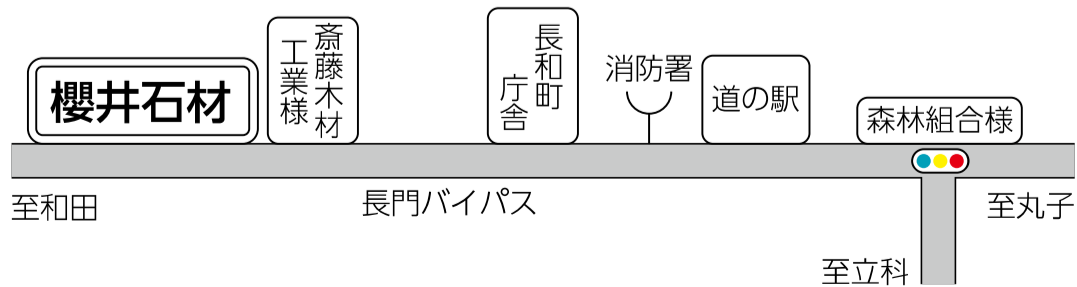
【お問合せ】 町民課 福祉係 電話0267-88-8405

お墓Q&A ◇各種ご質問にお答えしますので、お気軽にお問い合わせください。

Q. 生前にお墓を建てることは、良くないことですか？

A. そんな事はありません。生前にお墓を建てることは、「寿命を永らえる」という意味があり大変縁起が良いとされています。

また、生前に時間をかけてゆっくりとお墓選びができるメリットもあります。



墓石・戒名彫り・墓石クリーニング・石工事全般

櫻井石材有限公司

長和町古町4459(長門バイパス沿い)

☎0268-68-3859 FAX0268-68-4444

URL: <http://sakuraisekizai.net/info/>

